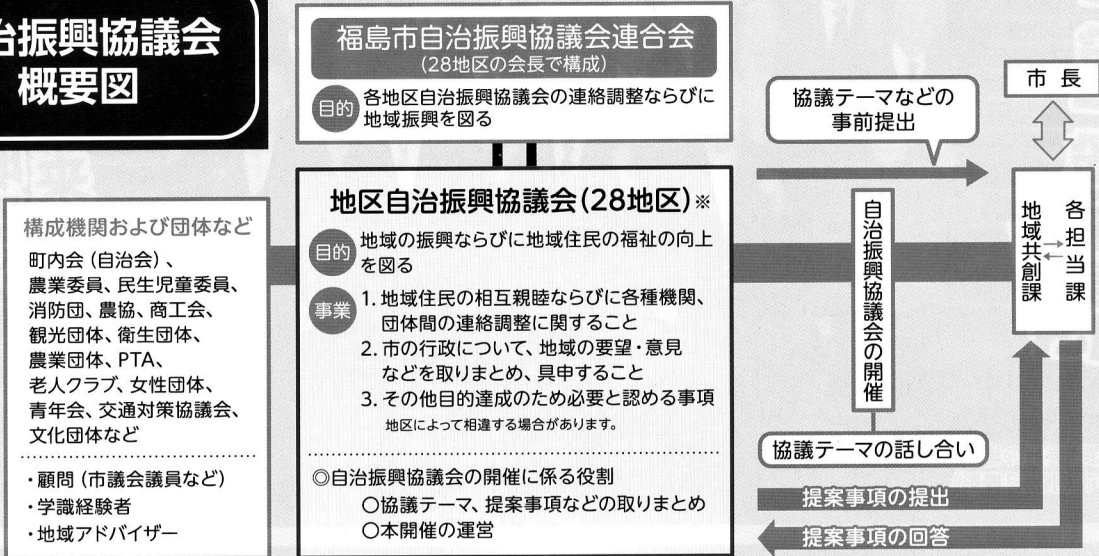


自治振興協議会とは

自治振興協議会は、昭和32年に発足した福島市独自の地域広聴制度です。
 地区の課題や提言及び提案を聴き、意見の交換を行うことによって、共創による安全で安心して暮らせるまちづくりの推進と、市民と行政とが情報の共有化を図るために開催しています。
 例年、6月下旬から8月下旬までの期間に一部合同開催を含め、市内18会場で開催しています。

自治振興協議会 概要図



※地区の協議テーマや提案事項などの取りまとめ、協議会開催の運営などにあたっています。
 協議会は町内会をはじめ、地区の各種団体の代表者や学識経験者で構成され、地域振興並びに地域住民の福祉の向上を図ることを目的とし、「地域のまちづくり」に取り組む中心的組織として大きな役割を担っています。

地区会長コメント



中央東地区
自治振興協議会
会長
小野 國武



■初開催のふくしまシティハーフマラソン

中央東地区は、福島駅東口側を中心に多くの人で賑わう地区であります。

本市のシンボル信夫山の「暁まじり」に由来する「福島わらじまつり」は、本市を代表するお祭りの一つです。時代に合わせて曲調や踊りを変化させながら、昨年で54回目の開催を迎えました。当協議会としても、「福島わらじまつり」をさらに盛り上げるべく、一昨年に地区の重要課題として協議テーマに掲げ、市当局と意見交換しました。

また、昨年は「ふくしまシティハーフマラソン」が初開催となり、市内外から参加した多くの健脚たちが古閑裕而ストリートなど中央東路を駆け抜けました。新緑の景色を楽しんでいただけた事と思います。

今後も地域の伝統を守りながらも、新たな息吹をもたらし、中心市街地にさらなる活気を生み出せるよう、地区としてまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。